

【別紙様式 I】 令和4年度 学校評価報告書

学校名 厚木中学校

厚木市教育委員会の基本目標	1 自ら学び、鍛え、未来を拓き、夢や可能性に挑み続ける力の育成【挑戦】	校長名 佐藤 弘幸
	2 自他の命や豊かな感性を大切に、多様性を認めながら共に生きていく力の育成【共生】	
	3 変化する社会に自ら進んで関わり、人々と協働してより良い社会を創る力の育成【創造】	

学校教育目標	学校経営の方針
知・徳・体の調和のとれた、心豊かで、たくましく生きる生徒の育成	・たくましく生きる力の育成 ・確かな学力の育成 ・思いやる力の育成

今年度の重点目標	
・学び合う力の育成 ・命の尊さを重んじる教育 ・豊かな人間性の醸成	

評価項目・指標等	基本目標との関連	具体的な取組	成果と課題	次年度への具体的な改善策
学校の様子がわかる通信	1・3	『厚中通信』『学年だより』『学級通信』の発行、HPブログの更新	各種学校だよりは定期的に発行できた。特にHPブログはほぼ毎日更新しており、アクセス数は昨年度より大きく増加した。	紙で発行している通信が家庭に渡っているかがやや不明瞭であることから、HPなどで刊行物を掲載する取組を始めている。
交通ルールを身に付け災害から身を守る生徒	2	毎月の「安全の日」に行う安全教育	従来に加え、タブレットの活用を推進できた。令和4年度は、重篤な交通事故を未然に防げている。	学級での指導に加えて、居住地区で集まる回数を増やし、危険個所の確認や不測の事態に備えたい。
「学習の約束」を守り、積極的に授業に取り組む生徒	1	「チャイム着席」「私語なし」「忘れ物なし」の授業の展開	「チャイム着席」は生徒が自主的に取り組めるようになり、メリハリのある生活が定着し始めている。	ルールを守ることを競い合う活動ではなく、生徒が必要を感じて自然に取り組めるよう教師がフォローして雰囲気を持続したい。
家庭学習の習慣化	1	学習意欲を高めるための授業づくり・指導法の工夫	各教科で適切に家庭での学習課題を提供できている。家庭で過ごす時間が過密にならないよう配慮したい。	Eライブラリの活用を含め、学習用端末の効果的な活用を検討していく。
お互いの存在を認め合い、いのちを大切にできる生徒	2	毎月の生活アンケートの実施、積極的な教育相談活動の展開	活動が定着しており、生徒理解に役立っている。タブレットでのアンケートでの有効性も検証している。	アンケート結果を見て、学担等が素早く相談活動を行っているの、これを継続したい。
自分の将来を考える生徒	1・3	道徳・進路学習等で将来の生き方を考えさせるキャリア教育の展開	コロナ禍で職場体験学習は実施できていないが、道徳や進路学習、SDGsの学習を通して生き方を考えさせている。	職場体験学習の在り方を抜本的に見直し、学校運営協議会との協働で活動を展開したい。
タブレットを活用した学習・生活	1・2・3	授業・学活・生徒会活動等多くの場面での積極的な活用とそための研修	学校生活のあらゆる場面での使用・利用が確実に広まった。新たな活用の在り方を生徒と共に考えたい。	情報モラルに関して、生徒間のトラブルにならないよう指導が必要である。また、通信環境の有無によらない取組を考える必要もある。

今年度の学校関係者評価委員会からの意見

学習用端末(クロームブック)での取組については認知度も含めて活用状況をさらに公開していくことが必要との意見をいただいた。各種行事での生徒の熱心な取組や、部活動・コンクール等での数多くの成果に高い評価をいただいた。

今年度の学校経営のまとめ ・ 次年度への改善の方針

基礎基本を重視し、さらなる学力の向上を目指す。学校行事では活動の制限がありながらも、目的を明らかにし、生徒一人ひとりに目標を持たせたことで、生き生きとし取組が実現できた。

今後は生徒同士の人間関係を深め、挑戦・共生・創造をテーマに生徒が主体的に活動できるような教育活動を実践していきたい。